

Ⅵ-181 ICカードによる火薬類管理に関する実験結果

西松建設（株） 正会員 高橋 竹次郎
大日本土木（株） 稲葉 富男
西松建設（株） 正会員 武井 正孝
（株）ユー・エス・イー 大堀 芳己
建設省土木研究所 藤野 健一

1. はじめに

火薬類の管理は、火薬類取締法の下で厳格に行われており、貯蔵・消費にあたっては、事前に綿密な計画を提出すると共に、運用についても厳格な管理が求められる。このように厳しい火薬類管理にICカードを利用することは、ICカードのもつセキュリティ機能・情報媒体機能を十分に活用することができ、非常に有用と思われる。ここにICカードによる火薬類管理モデルプログラムによる試行実験を行ったので発表する。ただ現行の法律の下ではICカードによる管理方法は認められておらず、実際の運用については今後の法改正を待つ必要がある。

2. 火薬類管理システムの概要

現在行われている帳票による管理をICカードに置き換えたシステムである。つまり、火工所・取扱所の帳簿の代わりに帳簿ICカード、各種伝票の代わりに伝票ICカード、そして資格確認のための資格者ICカードの3種類を使用する。ICカードは3種類とも8KBを使用し、データの入出力はハンディターミナルで行う。図-1に火薬類管理システムの概要を示す。

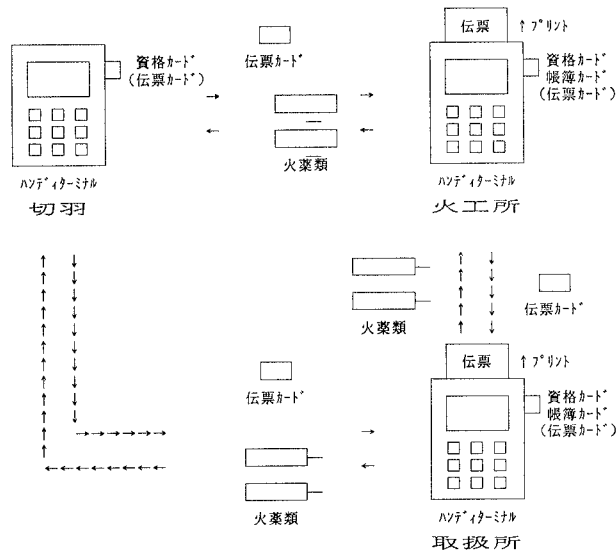


図-1 火薬類管理システムの概要

3. 試行実験

1) システムの対象範囲

消費場所での火薬類管理は、その複雑さ、頻度、重要性からみて管理の中心といえる。そこで本研究の対象範囲は、消費場所（切羽、火工所、取扱所）とした。図-2に火薬類管理における伝票・帳簿と本システムの対象範囲を示す。

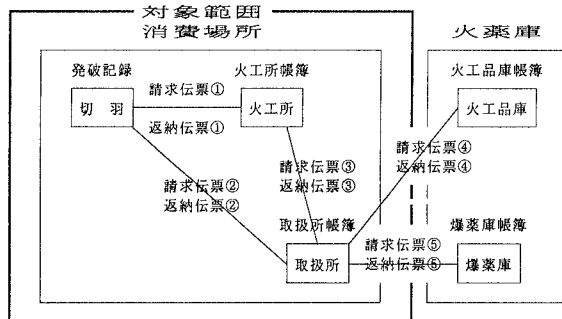


図-2 火薬類管理における伝票・帳簿と本システムの対象範囲

